

変えよう！日本と世界

第14回 反戦・反貧困・反差別共同行動in京都

(2020年10月18日(日)午後2時～、京都・円山野外音楽堂)

賛同／協賛のお願い

今年の京都・円山野外音楽堂での第14回反戦・反貧困・反差別共同行動in京都は、人類とコロナウィルスとの闘いの最中で開催します。この闘いは単に自然との闘いであるだけではなく、現代資本主義の危機的様相と密接に関連した闘いです。

その一つは、アメリカと中国と言う2大国などが、世界の富の独占を狙う中で起こったことであり、そして、それらの大国ではいずれも強権的な政治家が政治と権力を独占しています。日本でも、議会制民主主義の形態をとっているものの、その実態はここ数年、自民公明両党による「閣議決定」の乱用によって、政治・権力の私物化が公然とおこなわれ、安倍政権の独裁が進んでいます。そうした中、欧米でも日本でも、社会民主主義勢力の後退が著しく、また他方ではナショナリズムの新たな拡大や労働運動への厳しい弾圧も顕著になってきています。

このような情勢のなかでのコロナ禍が提起している社会問題解決の核心は何か。それは貧困者の救済のための闘いであり、施策にあたっては一切の差別を許さないこと、特に障害者や外国人、住民登録がない人などへの緊急の対策とともに、彼らとの連帯の闘いです。そして抜本的には小泉内閣以来の「小さな内閣と行政」の修正、すなわち保健所や病院の再拡充、看護医療労働者の待遇改善、生活保護行政の拡大を勝ち取らなければなりません。すなわちここ数十年の自民党政治の大変革をめざす闘いの大きなうねりです。その先の闘いは人類が絶対にしてはならないことを再確認し、そのための闘いの深化です。

それは言うまでもなく核の製造と使用の禁止、核兵器と原子力発電の中止、さらに遺伝子組み換えの禁止、富の分配の不公正さの禁止です。もはやI Rもオリンピックもパラリンピックも不要です。この際、既成の世界観を変えて、すべての人びとが「人なみ」に生きられる世界と日本につくりかえる行動に立ち上がることです。そこから必ず未来への展望が切り開かれるはずです。

皆さんのご参加をお待ちするとともに、例年通り、ぜひ、この集会への賛同・協賛をお願いします。

2020年8月 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都 世話人一同

第14回「反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都」実行委員会 代表世話人 仲尾 宏

〒601-8003 京都市南区東九条西山王町7 NPO社会労働センター内

FAX 075-981-4121 HP: <http://www.kyotohansen.org>

問い合わせ先 電話 090-5166-1251 (寺田道男)

郵便振替 00950-5-108500 加入者名「反戦・反貧困・反差別共同行動(きょうと)」

きりとり

返信欄 賛同します。(集会当日・名前〔肩書は無し〕と団体名を公表します)

賛同カンパ 一口1000円 (口、 円)

* できれば個人1口以上、団体は2口以上をお願いします。

お名前・団体名

公表は (可・ 不可) * どちらかに○印を付けてください。

住所

電話(携帯)

FAX

メール

【返信は、郵便振替用紙をはじめFAX、電話、手渡しなどをお願い